

提出金名: 国連合同エイズ計画提出金

国際機関等名	国連合同エイズ計画		(略称)	UNAIDS	
種 別	○国連本体	国連専門機関	その他		
所轄官庁担当局課名	厚生労働省大臣官房国際課				
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	金 額 外貨1 (千ドル)	外貨2 レ ー ト	拠出率(%) (注)	ODA率(%)
平成14年度	615,573	5,046	1\$ = 122 円	(2002年) 数値なし	75
平成13年度	773,423	7,229	1\$ = 107 円	(2000-2001年)	100
平成12年度	758,100	7,220	1\$ = 105 円	7.3	100
拠出上位5ヶ国					
	国 名	率(%)		左の率及び順位は 2000-2001年のもの	
1位	オランダ	22.8			
2位	米国	15.1			
3位	ノルウェー	11.4			
4位	スウェーデン	9.8			
5位	日本	7.3			
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
WHO, UNICEF, WB等の共同事業として1996年に設立されて以来、エイズ対策に関連する国連機関等の調整を通じ、世界のエイズ対策を推進する中心的な役割を担っており、2001年国連エイズ特別総会の開催や2002年に設立された世界エイズ・結核・マラリア基金に対する積極的な技術支援・連携を行う等、我が国を含む国際社会において高く評価されている。なお、UNAIDSの事業は全て任意拠出金によりまかなわれている。					
我が国はUNAIDSに対して拠出金による財政支援を行うとともに、事業調整理事会のメンバーとして積極的にその活動を支援している。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
エイズ対策に関連する参加国際機関(コスポンサー)のエイズ対策を総合的に管理執行するため、関連国際機関の関連事業予算とUNAIDS事務局予算を統合した統合事業予算を2001年に導入、今後、コスポンサーの事業を含む総合的なエイズ対策を推進する中で事業の効率化も図る、としている。(実効性については今後評価。)					
また、設立5年が経過した時点で事業全体の評価をおこなうこととされ、管理運営方法や組織の在り方もふくめ、2002年末に5年後評価報告書が理事会に提出された。今後、その報告をもとに、より効率的効果的なUNAIDSの組織運営を含めた事業見直しの検討が行われる予定。					
邦人職員数 うち幹部以上	1 人 うち 0 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		114人 0.9%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					

(注)我が国と各国とは会計年度が異なるため、搬出率については暦年(2000年～2002年)。